

2 学年総復習【地理重要語句】

氏名 ()

| | |
|--|--|
| 沿岸から 200 海里までの、沿岸国が資源の権利をもつ海域。 | |
| 日本の排他的経済水域の、領土沿岸からの距離(何海里か)。 | |
| ヨーロッパのアルプス山脈とアジアのヒマラヤ山脈が属する造山帯。 | |
| 太平洋を取り囲むように連なる造山帯。 | |
| 東北地方の中央部を南北に走る、日本最長の山脈。 | |
| 関東地方に広がる日本最大の平野。 | |
| 長野県から新潟県に流れる日本最長の河川。 | |
| 越後山脈から関東地方を流れる、流域面積が日本最大の河川。 | |
| 飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈の3つの山脈の、ヨーロッパの山脈にちなんだ呼び名。 | |
| 日本アルプスから東側に南北にのびる、日本列島を東西に分ける境。 | |
| 太平洋沖から伊豆諸島、小笠原諸島に沿ってある、深く細長い海底地形。 | |
| 志摩半島などに見られる出入りが激しい海岸地形。 | |
| 深さ約 200m までの平たんな海底地形。 | |
| 川が山地から平地に出た所に形成される、ゆるやかな傾斜地。 | |
| 川が海や湖に流れこむ所に形成される、低くて平らな土地。 | |
| 温帯のうち、夏に乾燥し、冬に雨が降る、ヨーロッパ南部などの気候。 | |
| 温帯のうち、暖流と偏西風の影響で、高緯度のわりに冬でも温暖な気候。 | |
| 温帯のうち、年間の降水量が多い、日本の大部分が属する気候。 | |
| 地震などの災害に備えて、被害予測や避難場所などを示した地図。 | |
| アジアなどの発展途上国で見られる、急激な人口増加のこと。 | |
| 子どもの数が減り、高齢者の人口の割合が高くなること。 | |
| 人口が集中している、東京、大阪、名古屋を中心とした3つの都市圏をまとめた呼び名。 | |
| 札幌、仙台、広島など、各地方の中心都市。 | |

| | |
|--|--|
| 新潟、熊本など、政府の指定を受け、通常の市より権限が強くなった人口 50 万人以上の都市。 | |
| 都心への人口集中を防ぐために郊外に造られた都市や団地。 | |
| 都心の人口が減少し、郊外の人口が増加する現象。 | |
| 再開発などにより、郊外よりも都心に近い地域の人口が再び増加する現象。 | |
| 人口が減少し、地域社会の維持が難しくなった地域。 | |
| 太陽光や風力など、くり返し利用でき、枯渇することのないエネルギー。 | |
| 大都市の近くで、野菜や果物を新鮮なうちに生産・出荷する園芸農業。 | |
| 温暖な気候を利用し、他地域より農産物の出荷時期を早める栽培方法。 | |
| 冷涼な気候を利用し、他地域より農産物の出荷時期をおくらせる栽培方法。 | |
| 温室やビニールハウスなどの施設を利用して野菜や花を栽培する農業。 | |
| 国内での食料の消費量にしめる、国内生産量の割合のこと。 | |
| 沿岸国が資源を管理できる、領海の外側で沿岸から 200 海里までの海域。 | |
| いけすなどの囲いのある水域で、魚介類を成長するまで育てとる漁業。 | |
| 卵からふ化させた魚介類を海や川に放し、成長してからとる漁業。 | |
| 東京・川崎市・横浜市を中心とする工業地帯。 | |
| 名古屋市を中心に愛知県・岐阜県・三重県に広がる工業地帯。 | |
| 大阪市から神戸市周辺の地域を中心とする工業地帯。 | |
| 瀬戸内海沿岸の各地に発達した工業地域。 | |
| 福岡県の北九州市を中心とする工業地域。 | |
| 臨海部を中心に工業地帯や工業地域が連なっている地域。 | |
| かつて日本が盛んに行っていた、原料を輸入して、それをもとに造った工業製品を輸出する貿易の型。 | |
| 世界各地で、生産・販売の活動を行っている企業。 | |
| 2地点間がどれだけはなれているか、移動にかかる時間で表したものの。 | |
| 国内外の航空路線の乗りかえ拠点としての機能を持つ空港。 | |
| 輸出国と輸入国の間で生じている、貿易をめぐる諸問題。 | |
| 福岡県南部から佐賀県南東部にかけて広がる、九州地方最大の平野。 | |

| | |
|---|--|
| 熊本県北東部にあり、世界最大級のカルデラをもつ活火山。 | |
| 阿蘇山に見られる、噴火で火山灰や溶岩がふき出したあとにできた大きなくぼ地。 | |
| 九州の南部に広がる、火山の噴出物が積み重なってできた地層。 | |
| 山の斜面にそって階段状に造られた水田。 | |
| 1960年代以降、エネルギー源の中心が石炭から石油にかわったこと。 | |
| 北九州市などが選定された、環境保全に積極的に取り組む都市。 | |
| 福岡市などの都市化が進んだ地域で起こる、都市の中心部に熱がこもって周辺部よりも気温が高くなる現象。 | |
| 兵庫県中央部から山口県中央部まで東西に走る、なだらかな山地。 | |
| 四国地方の中央部を東西に走るけわしい山地。 | |
| 香川県の北半分をしめる、雨が少なくため池が多い平野。 | |
| 倉敷市水島などに建設された、石油精製工場を中心とした工場群。 | |
| 原子爆弾が投下された経験から、世界平和を推進する広島市の呼び名。 | |
| 過疎に直面する市町村で行われる、地域の活性化のための取り組み。 | |
| 本州と四国を結ぶ3つのルートにかけられた橋の総称。 | |
| 滋賀県の中央部にあり、滋賀県の面積の6分の1をしめる日本最大の湖。 | |
| 琵琶湖南部から流出し、滋賀県・京都府・大阪府をへて大阪湾に注ぐ河川。 | |
| 近畿地方の南部の紀伊半島を東西に走る、けわしい山地。 | |
| 大阪を中心に、神戸・京都・奈良などをふくむ、人やものの移動によるつながりの強い都市圏。 | |
| 江戸時代に、各地の物産の流通拠点だった大阪の呼び名。 | |
| 丘陵をけずって得られた土でうめ立ててできた、神戸港内にある人工島。 | |
| 新潟、富山、岐阜、長野の県境にある、北アルプスともよばれる山脈。 | |
| 長野県の南部を南北に走る、中央アルプスともよばれる山脈。 | |
| 静岡県、長野県、山梨県の県境にある、南アルプスともよばれる山脈。 | |
| 新潟県の日本海に面し、信濃川や阿賀野川の河口がある平野。 | |
| 伊勢湾に面し、愛知県北西部と岐阜県西南部に広がる平野。 | |

| | |
|---|--|
| 小千谷ちぢみ、輪島塗、加賀友禅などを作る、古くから発達した産業。 | |
| 富山の売薬、福井県鯖江市の眼鏡フレーム作りなど、地域特有の産業。 | |
| 八ヶ岳などの高冷地で、夏でも冷涼な気候を生かして作られる、レタスやキャベツなどの野菜。 | |
| 北陸の水田地帯で、他の産地よりも早く栽培・出荷している米。 | |
| 名古屋市を中心に形成されている都市圏。 | |
| 関東地方の台地をおおう、火山灰が堆積した赤土。 | |
| 関東平野で冬にふく、乾燥した冷たい北西の季節風。 | |
| 東京 23 区を中心に、横浜市など関東地方にある政令指定都市などで形成されている都市圏。 | |
| 山形県北西部の日本海に面する、最上川の河口がある平野。 | |
| 山形県・福島県の県境から北上し、庄内平野の酒田市で日本海に注ぐ河川。 | |
| 青森県八戸市から宮城県石巻市までの太平洋側の海岸。 | |
| 東北地方の太平洋側で夏にふく、寒流の影響で冷たくしめった北東風。 | |
| やませがふいて日が照らない日が続く、気温が下がる夏。 | |
| 東北地方のように、米などの穀物が多くとれ、大都市に出荷している地域。 | |
| 三陸海岸の沖など、暖流と寒流がぶつかり、良い漁場となっている所。 | |
| 伝統芸能や民俗芸能など、無形の民俗文化財のうち、秋田県のなまはげのように、国が特に重要と指定したもの。 | |
| 石狩川の中・下流域に形成され、札幌市などの都市がある平野。 | |
| 北海道東端の釧路市と根室市間の、大規模な酪農が行われている台地。 | |
| 北海道の太平洋側で、夏の季節風が親潮に冷やされて発生する霧。 | |
| 明治時代に、北海道を開拓する目的で置かれた役所。 | |
| 明治時代に、北海道を開拓するために送られた、警備にあたる兵士をかねた農民。 | |
| 北海道などの雪が多い地域に見られる、道路の下にうめこんだ電熱線や温水パイプで雪を解かす設備。 | |
| 同じ土地で、年や時期ごとに、異なる農作物を順番につくる栽培方法。 | |
| 地元で生産された農林水産物を、地元で消費すること。 | |

2 学年総復習【地理重要語句】

氏名 ()

| | |
|--|--------------|
| 沿岸から 200 海里までの、沿岸国が資源の権利をもつ海域。 | 排他的経済水域 |
| 日本の排他的経済水域の、領土沿岸からの距離(何海里か)。 | 200 |
| ヨーロッパのアルプス山脈とアジアのヒマラヤ山脈が属する造山帯。 | アルプス・ヒマラヤ造山帯 |
| 太平洋を取り囲むように連なる造山帯。 | 環太平洋造山帯 |
| 東北地方の中央部を南北に走る、日本最長の山脈。 | 奥羽山脈 |
| 関東地方に広がる日本最大の平野。 | 関東平野 |
| 長野県から新潟県に流れる日本最長の河川。 | 信濃川 |
| 越後山脈から関東地方を流れる、流域面積が日本最大の河川。 | 利根川 |
| 飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈の3つの山脈の、ヨーロッパの山脈にちなんだ呼び名。 | 日本アルプス |
| 日本アルプスから東側に南北にのびる、日本列島を東西に分ける境。 | フォッサマグナ |
| 太平洋沖から伊豆諸島、小笠原諸島に沿ってある、深く細長い海底地形。 | (日本)海溝 |
| 志摩半島などに見られる出入りが激しい海岸地形。 | リアス海岸 |
| 深さ約 200m までの平坦な海底地形。 | 大陸棚 |
| 川が山地から平地に出た所に形成される、ゆるやかな傾斜地。 | 扇状地 |
| 川が海や湖に流れこむ所に形成される、低くて平らな土地。 | 三角州 |
| 温帯のうち、夏に乾燥し、冬に雨が降る、ヨーロッパ南部などの気候。 | 地中海性気候 |
| 温帯のうち、暖流と偏西風の影響で、高緯度のわりに冬でも温暖な気候。 | 西岸海洋性気候 |
| 温帯のうち、年間の降水量が多い、日本の大部分が属する気候。 | 温帯[暖]湿潤気候 |
| 地震などの災害に備えて、被害予測や避難場所などを示した地図。 | ハザードマップ |
| アジアなどの発展途上国で見られる、急激な人口増加のこと。 | 人口爆発 |
| 子どもの数が減り、高齢者の人口の割合が高くなること。 | 少子高齢化 |
| 人口が集中している、東京、大阪、名古屋を中心とした3つの都市圏をまとめた呼び名。 | 三大都市圏 |
| 札幌、仙台、広島など、各地方の中心都市。 | 地方中枢都市 |

| | |
|--|-----------|
| 新潟、熊本など、政府の指定を受け、通常の市より権限が強くなった人口 50 万人以上の都市。 | 政令指定都市 |
| 都心への人口集中を防ぐために郊外に造られた都市や団地。 | ニュータウン |
| 都心の人口が減少し、郊外の人口が増加する現象。 | ドーナツ化現象 |
| 再開発などにより、郊外よりも都心に近い地域の人口が再び増加する現象。 | 都心回帰現象 |
| 人口が減少し、地域社会の維持が難しくなった地域。 | 過疎 |
| 太陽光や風力など、くり返し利用でき、枯渇することのないエネルギー。 | 再生可能エネルギー |
| 大都市の近くで、野菜や果物を新鮮なうちに生産・出荷する園芸農業。 | 近郊農業 |
| 温暖な気候を利用し、他地域より農産物の出荷時期を早める栽培方法。 | 促成栽培 |
| 冷涼な気候を利用し、他地域より農産物の出荷時期をおくらせる栽培方法。 | 抑制栽培 |
| 温室やビニールハウスなどの施設を利用して野菜や花を栽培する農業。 | 施設園芸農業 |
| 国内での食料の消費量にしめる、国内生産量の割合のこと。 | 食料自給率 |
| 沿岸国が資源を管理できる、領海の外側で沿岸から 200 海里までの海域。 | 排他的経済水域 |
| いけすなどの囲いのある水域で、魚介類を成長するまで育てとる漁業。 | 養殖漁業 |
| 卵からふ化させた魚介類を海や川に放し、成長してからとる漁業。 | 栽培漁業 |
| 東京・川崎市・横浜市を中心とする工業地帯。 | 京浜工業地帯 |
| 名古屋市を中心に愛知県・岐阜県・三重県に広がる工業地帯。 | 中京工業地帯 |
| 大阪市から神戸市周辺の地域を中心とする工業地帯。 | 阪神工業地帯 |
| 瀬戸内海沿岸の各地に発達した工業地域。 | 瀬戸内工業地帯 |
| 福岡県の北九州市を中心とする工業地域。 | 北九州工業地域 |
| 臨海部を中心に工業地帯や工業地域が連なっている地域。 | 太平洋ベルト |
| かつて日本が盛んに行っていた、原料を輸入して、それをもとに造った工業製品を輸出する貿易の型。 | 加工貿易 |
| 世界各地で、生産・販売の活動を行っている企業。 | 多国籍企業 |
| 2地点間がどれだけはなれているか、移動にかかる時間で表したもの。 | 時間距離 |
| 国内外の航空路線の乗りかえ拠点としての機能を持つ空港。 | ハブ空港 |
| 輸出国と輸入国の間で生じている、貿易をめぐる諸問題。 | 貿易摩擦 |
| 福岡県南部から佐賀県南東部にかけて広がる、九州地方最大の平野。 | 筑紫平野 |

| | |
|---|------------|
| 熊本県北東部にあり、世界最大級のカルデラをもつ活火山。 | 阿蘇山 |
| 阿蘇山に見られる、噴火で火山灰や溶岩がふき出したあとにできた大きなくぼ地。 | カルデラ |
| 九州の南部に広がる、火山の噴出物が積み重なってできた地層。 | シラス |
| 山の斜面にそって階段状に造られた水田。 | 棚田 |
| 1960年代以降、エネルギー源の中心が石炭から石油にか変わったこと。 | エネルギー革命 |
| 北九州市などが選定された、環境保全に積極的に取り組む都市。 | 環境モデル都市 |
| 福岡市などの都市化が進んだ地域で起こる、都市の中心部に熱がこもって周辺部よりも気温が高くなる現象。 | ヒートアイランド現象 |
| 兵庫県中央部から山口県中央部まで東西に走る、なだらかな山地。 | 中国山地 |
| 四国地方の中央部を東西に走るけわしい山地。 | 四国山地 |
| 香川県の北半分をしめる、雨が少なくなため池が多い平野。 | 讃岐平野 |
| 倉敷市水島などに建設された、石油精製工場を中心とした工場群。 | 石油化学コンビナート |
| 原子爆弾が投下された経験から、世界平和を推進する広島市の呼び名。 | 平和記念都市 |
| 過疎に直面する市町村で行われる、地域の活性化のための取り組み。 | 町おこし・村おこし |
| 本州と四国を結ぶ3つのルートにかけられた橋の総称。 | 本州四国連絡橋 |
| 滋賀県の中央部にあり、滋賀県の面積の6分の1をしめる日本最大の湖。 | 琵琶湖 |
| 琵琶湖南部から流出し、滋賀県・京都府・大阪府をへて大阪湾に注ぐ河川。 | 淀川 |
| 近畿地方の南部の紀伊半島を東西に走る、けわしい山地。 | 紀伊山地 |
| 大阪を中心に、神戸・京都・奈良などをふくむ、人やものの移動によるつながりの強い都市圏。 | 大阪大都市圏 |
| 江戸時代に、各地の物産の流通拠点だった大阪の呼び名。 | 天下の台所 |
| 丘陵をけずって得られた土でうめ立ててできた、神戸港内にある人工島。 | ポートアイランド |
| 新潟、富山、岐阜、長野の県境にある、北アルプスともよばれる山脈。 | 飛騨山脈 |
| 長野県の南部を南北に走る、中央アルプスともよばれる山脈。 | 木曾山脈 |
| 静岡県、長野県、山梨県の県境にある、南アルプスともよばれる山脈。 | 赤石山脈 |
| 新潟県の日本海に面し、信濃川や阿賀野川の河口がある平野。 | 越後平野 |
| 伊勢湾に面し、愛知県北西部と岐阜県南西部に広がる平野。 | 濃尾平野 |

| | |
|---|-----------|
| 小千谷ちぢみ、輪島塗、加賀友禅などを作る、古くから発達した産業。 | 伝統産業 |
| 富山の売薬、福井県鯖江市の眼鏡フレーム作りなど、地域特有の産業。 | 地場産業 |
| 八ヶ岳などの高冷地で、夏でも涼やかな気候を生かして作られる、レタスやキャベツなどの野菜。 | 高原野菜 |
| 北陸の水田地帯で、他の産地よりも早く栽培・出荷している米。 | 早場米 |
| 名古屋市を中心に形成されている都市圏。 | 名古屋大都市圏 |
| 関東地方の台地をおおう、火山灰が堆積した赤土。 | 関東ローム |
| 関東平野で冬にふく、乾燥した冷たい北西の季節風。 | からっ風 |
| 東京23区を中心に、横浜市など関東地方にある政令指定都市などで形成されている都市圏。 | 東京大都市圏 |
| 山形県北西部の日本海に面する、最上川の河口がある平野。 | 庄内平野 |
| 山形県・福島県の県境から北上し、庄内平野の酒田市で日本海に注ぐ河川。 | 最上川 |
| 青森県八戸市から宮城県石巻市までの太平洋側の海岸。 | 三陸海岸 |
| 東北地方の太平洋側で夏にふく、寒流の影響で冷たくしめった北東風。 | やませ |
| やませがふいて日が照らない日が続く、気温が下がる夏。 | 冷夏 |
| 東北地方のように、米などの穀物が多くとれ、大都市に出荷している地域。 | 穀倉 |
| 三陸海岸の沖など、暖流と寒流がぶつかり、良い漁場となっている所。 | 潮目 |
| 伝統芸能や民俗芸能など、無形の民俗文化財のうち、秋田県のなまはげのように、国が特に重要と指定したもの。 | 重要無形民俗文化財 |
| 石狩川の中・下流域に形成され、札幌市などの都市がある平野。 | 石狩平野 |
| 北海道東端の釧路市と根室市の間、大規模な酪農が行われている台地。 | 根釧台地 |
| 北海道の太平洋側で、夏の季節風が親潮に冷やされて発生する霧。 | 濃霧 |
| 明治時代に、北海道を開拓する目的で置かれた役所。 | 開拓使 |
| 明治時代に、北海道を開拓するために送られた、警備にあたる兵士をかねた農民。 | 屯田兵 |
| 北海道などの雪が多い地域に見られる、道路の下にうめこんだ電熱線や温水パイプで雪を解かす設備。 | ロードヒーティング |
| 同じ土地で、年や時期ごとに、異なる農作物を順番につくる栽培方法。 | 輪作 |
| 地元で生産された農林水産物を、地元で消費すること。 | 地産地消 |